

## 【優秀賞】

### 「たった一人にできること」

石巻市立石巻中学校

三年 遠藤 まお

先日、スーパーで「SDGs」についてのポスターが貼られていました。そのときふと思いついたのが小学生のときに、学校の授業でパソコンを使いながら「SDGs」について調べるという学習でした。そのときに、SDGsとは、「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を二〇三〇年までに解決し、より良い地球を世界中のみんなが目指していく」という計画目標のことだと知りました。

その授業で持続可能な十七の目標を調べていたとき、私は「安全な水とトイレを世界中に」という項目をみて妙な感覚を覚えました。というのも、「他の項目より簡単そうじゃないか」と思ったのです。なにせ、地球は水の惑星と言われているほどですから、他の項目と比べれば、簡単に実現できるのではと思いました。そこで私はその項目について、重点的に調べてみることにしました。

調べてみると、私の想像をはるかに超える深刻さがありました。茶色く濁った水をすする子どもや、それを飲むことによつて病気にかかつてしまう人々。特に私が驚いたのが、「日本のように安全な水が使える国は数えるほどしかない」ということでした。安全ではない水を使っていると、感染症の原因になることはもちろん、大きな影響を受ける子どもたちの中には、健康を害し、命を落とす子どもも多いそうです。そんな国が世界にはたくさんあり、日本が安全な水を使える数少ない国に属していると知り、日本に生まれたことの喜びを感じました。しかし同時に、飲料水や生活水などの水の問題で困っている国の人々のつらさや苦しみを考えると、複雑な、釈然としない気持ちになりました。

世界の深刻な状況を目の当たりにして、私は自分にできることはなにかを次に調べてみることにしました。一番に出てくることは汚水を減らすことや処理しないままの排水を半分に減らすこと、世界中で水の安全な再利用を増やすことなど、国全体で取り組まないと実現できない目標ばかりでした。そこで私は「私一人にできること」に焦点を当ててみました。「一人でできる」を中心に調べて分かったのは、生活水の節約でした。普段の生活の中でシャワーやトイレなど、水を使うものを意識してみると、自宅には意外とたくさん無駄になってしまいう水がありました。それらを少しずつ減らしていったら、生涯いくらの水が節約できるのでしょうか。これからは、水の使い方についてより多く調べて、生活水の使い方意識して暮らしていきたいと思いました。

加えて、私はまず知ることが大切だと思います。水は生きていくうえで切っても切り離せない、命に関係するものです。その水を安全に、安心して使えない国があるのだということを忘れないでいきたいです。水の問題に関心をもつて、水に関わる紛争が起きていることや、水不足による干ばつでの砂漠化が進んでいることを積極的に調べて知ることから始め、水資源の大切さや普段の水の使い方を見直し、心がけていきたいと思えます。世界の深刻な状況に目を向け人々が協力し合い、できることに取り組んでいくことが「私一人でできること」の一番最初にするべきことなのではと私は感じました。限りあるものを大切に使い、世界中のすべての人々が平等に安全な水を使用できる時代を目指して、今は私、できることをできる限りやっていきたいと思えます。

生きること必要不可欠な水を、あたりまえと思わず、大切に扱い、意識する人が一人でも増えれば、水の環境問題を解決する第一歩となるのではないのでしょうか。